

2017年度日本財団助成事業
発達障がい児の運動教室における
ボランティアの養成
報告書



Supported by  日本財団 THE NIPPON FOUNDATION

2018年3月
N P O 法人スマイルクラブ

目次

はじめに	1
本事業の目的と概要	2
本事業の実施内容と結果	3
本事業の評価と課題	15

(付表) ボランティア募集チラシ一覧

はじめに

自閉症児の母親に頼まれて始めた『運動が苦手な子の教室』は20年目の節目を迎え、苦手な子から成長した高校生以上の生徒を対象に開設した「チャレンジスポーツ教室」も加えると合計で19教室にまで拡大しました。

日本財団様の助成も3年目を迎え、お手伝いしてくれる社会人や学生のボランティアの方々の中には、ほとんど指示を出さなくても子どもたちの指導をできるまでに成長した方も出てまいりました。

初めて参加したボランティアの方が、子どもたちと上手に接することができずに悩んでいらっしやっても、二回目、三回目になると子どもたちと打ち解けて、一緒に笑顔になっている光景を見ると、この教室を続けてきて本当に良かったと実感いたします。

今後もこの成果を生かして多くのボランティアを育成し、発達障がい者が生きやすい世の中になるよう頑張ります。

最後に、今回の助成事業にご協力いただきました関係者方々にこの場をお借りしまして謝意を述べさせていただきます。

2018年3月
NPO法人スマイルクラブ
理事長 大浜 あつ子

本事業の目的と概要

【目的】

年々増える発達障がい児を対象とした運動指導教室「運動が苦手な子の教室」を始めて20年目となった。この教室には多くの方にボランティアとして参加いただいております、今ではボランティアなくして教室は運営できない程重要な存在となってきたが、以下のような課題も多い。

1. ボランティアをしたいが、学校や部活、バイトが忙しく参加が難しい
2. 発達障がい児への具体的な接し方がわからない
3. イベントなどの単発的な参加は多いが、継続へ繋がりにくい
4. NPOへの理解不足。

これらの課題を乗り越えるために、新たなるボランティアの増加や単発的参加から継続的参加への移行、ボランティアの資質向上を目指している。そして一人でも多くの方に発達障がい児に携わってもらい、障がいの理解者を増やすことが、将来子ども達が社会に出た時の支援の充実に繋がると考える。

【概要】

1. 「運動が苦手な子の教室」イベントを通じたボランティアの勧誘
 - (1) 8月 水泳教室
 - (2) 10月 ボウリング大会
 - (3) 11月 風船バレーボール大会
 - (4) 12月 クリスマス会
2. 技能講習会を通じたボランティアの資質向上
 - (1) 5月 安全研修・実技講習会
 - (2) 1月 ホスピタルクラウン講習会
3. ボランティア報告会での体験報告（2月）
4. 関係機関への報告書配布による本事業の普及（3月）

本事業の実施内容と結果

1. 「運動が苦手な子の教室」イベントを通じたボランティアの勧誘

(1) 水泳教室

- ・日時：2017年8月1日（火） - 8月3日（木） 10:00-12:00
- ・場所：柏市立高校プール
- ・参加ボランティア：31人（全員初参加）3日間延べでは84人
- ・内容：「運動が苦手な子の教室」会員向けの水泳指導

子どもたちとボランティアの学生さんがマンツーマンでプールへ入る教室です。初日はぎこちなかったペアも最終日には兄弟姉妹のように仲良く泳いでおり、子どもたち学生双方にとって忘れられない素敵な思い出になりました。



マンツーマンでの水泳指導



ボランティアの皆さん

(2) ボウリング大会

- ・日時：2017年10月9日（月・祝）13:30-16:30
- ・場所：マルハン柏内ボウリング場
- ・参加ボランティア：12人（内初参加2人）
- ・内容：障がい児の家族ボウリング大会での投球などの手伝い

「運動が苦手な子の教室」、「チャレンジスポーツ教室」、「スマイルスポーツ塾」の子ども達とご家族を中心に参加頂きました。

ボランティアには社会人の方から中学生まで様々な方々に、シューターを使った投球など幅広くお手伝いいただきました。会場を楽しく盛り上げて頂いたお陰で、障がいのあるなしに関わらずみんなと一緒にボウリングを楽しみました。



ボランティアさんとの打ち合わせ



シューター投球のお手伝い

(3) 風船バレーボール大会

- ・日時：2017年11月25日（土） 13:00-15:00
- ・場所：船橋市立大穴小学校
- ・参加ボランティア：7人（内初参加4人）
- ・内容：障がい児のチームに入って風船バレーボールの試合実施

大きな風船を追いかけて、子ども達は元気いっぱい。保護者やボランティアさん達が上手くフォローしてくださったので、なかなか風船が落ちず白熱した試合を楽しむことができました。ゲームに勝って嬉しかったり負けて悔しかったり、日頃できない貴重な体験でした。



まずは子どもたちの練習



ボランティアも参加して試合実施

(4) クリスマス会

・日時と場所：

☆柏教室

日	時間	会場
12/21(木)	17:15~18:40<苦手> ※前後半合同	富勢西小学校
	19:15~20:45<チャレンジ>	
12/23(土)	9:40~10:30	富勢東小学校
	13:05~13:55	光ヶ丘小学校
	15:15~16:40※前後半合同	旭小学校
	16:30~17:30	大津ヶ丘第一小学校

☆松戸教室

日	時間	会場
12/19(火)	19:00~20:30<チャレンジ>	常盤平第二小
12/20(水)	17:15~18:40※前後半合同	常盤平体育館
12/20(水)	19:15~20:45<チャレンジ>	小金南中学校
12/21(木)	17:15~18:40※前後半合同	常盤平体育館

☆印西教室・船橋教室

日	時間	会場
12/23(土)	10:10~11:00	木刈小
12/23(土)	13:15~14:40※前後半合同	大穴小

- ・参加ボランティア：24人（内初参加 0人）
- ・内容：「運動が苦手な子の教室」「チャレンジスポーツ教室」のクリスマス会の運営の手伝い

サンタクロースの格好をして、子どもたちと一緒にゲームを楽しみ、終わった後は子どもたちにお菓子を配りました。
「ありがとう」って言われた時の純真な笑顔に癒されました。



チーム対抗でスラローム競走



個人戦のカラーシール集め競争

【参考】

ボランティアの継続希望者向けの「運動が苦手な子の教室」紹介（通年）

・日時と場所：

地域	会場	曜日	時間
千葉県 柏市	葛勢西小学校 (柏市布施 84-2)	毎週木曜日	17:00~19:00
	葛勢東小学校 (柏市布施 2167-2)	毎週土曜日	9:30~10:30
	酒井根小学校 (柏市酒井根 19-2)	毎週土曜日	13:00~14:00
	旭小学校 (柏市旭町 6-5-17)	毎週土曜日	15:00~17:00
	大津ヶ丘第一小学校 (柏市大津ヶ丘 3-50)	毎週土曜日	16:30~17:30
千葉県 松戸市	常盤平体育館 (松戸市常盤平松葉町 1-3)	毎週水曜日	17:00~19:00
		毎週木曜日	17:00~19:00
千葉県 印西市	木刈小学校 (印西市木刈 2-6)	毎週土曜日	10:00~11:00
千葉県 船橋市	大穴小学校 (船橋市大穴南 2-7-1)	毎週土曜日	13:00~15:00
茨城県 取手市	六郷小学校 (取手市清水 373)	毎週土曜日	9:00~11:00
茨城県 水戸市	サン・アビリティーズ (水戸市見川町 2563-705)	毎週土曜日	9:30~11:30
	常磐小学校 (水戸市西原 1-3-12)	毎週土曜日	13:30~14:30
熊本県 熊本市	熊田地域コミュニティセンター (熊本市北区熊田 8 丁目 2-7)	毎週土曜日	14:00~15:00

- ・内容：「運動が苦手な子の教室」での運動指導
 コーチの指示に合わせて運動できるように、声をかけたり
 手を引いてもらうなどのサポートをしていただきます。



子どもたちの前で自己紹介する
 ボランティアの皆さま (7)



風船バレーを一緒に楽しむ
 ボランティアの皆さま

2. 技能講習会を通したボランティアの資質向上

(1) 安全研修・実技講習会

- ・日時：2017年6月11日（日） 13:00-15:00
- ・場所：柏市立柏の葉小学校体育館
- ・参加ボランティア：14人（内初参加3人）
- ・内容：心肺蘇生（CPR/AED）と骨折の応急処置などの安全研修

流通経済大学スポーツ健康科学部荒井宏和教授より、訓練人形を使っての人工呼吸法とAED使用法、三角巾を使った骨折時の応急措置について理論と実技を交えて講習いただきました。

特に、夏の水泳教室でコーチとなっているボランティアの方々は水難事故の防止のために、日頃使わないために忘れていた点などを重点的に確認していました。



講義される荒井先生



訓練人形を使った実技訓練

(2) ホスピタルクラウン講習会

- ・日時：2018年1月14日（日）13:00-15:00
- ・場所：柏の葉K O I L
- ・参加ボランティア：21人（内初参加2人）
- ・内容：子どもの心をひらくコミュニケーション術

ホスピタルクラウンとして小児病棟や被災地へ訪問し子どもたちに笑いを届ける活動などをされている大棟耕介氏（クラウンネームはKさん）より、子どもに心を開いてもらうために大棟氏が日頃心がけていることをお聞きし、椅子のバランスのパフォーマンスや、バルーンアートの作り方を教わり、参加したボランティアの皆さまは熱心に取り組んでいました。



パフォーマンスを披露する大棟氏



バルーンアートを教わる
ボランティア

3. ボランティア報告会での体験報告

- ・日時：2018年2月4日（日）18:00-20:00
- ・場所：まねきねこ柏
- ・参加ボランティア：10人
- ・内容：ボランティア代表による体験報告

本事業中にボランティアを始められ、継続して活動いただいたボランティア4名の方に体験報告いただき、他のボランティア並びにスマイルクラブのスタッフが拝聴しました。



國井勇樹さん
(大学3年生)



仲村妙子さん
(元中学教師)



水野はるなさん
(大学院生)



松本大輝さん
(社会人)

当日欠席のため代読

スマイルクラブでの活動を通して 國井勇樹

私は、昨年の夏に大学の実習として、スマイルクラブの苦手な子の運動教室や、プール教室に参加させていただき、その後、日程が合うときに、いろいろなイベントに参加させていただきました。両手で数えられるほどしか参加していない状態で、このような機会をいただくのは大変恐縮ですが、スマイルクラブでの活動を通して私が感じたことをまとめていきたいと思います。

スマイルクラブの代表的な活動の一つは、障害者スポーツの支援であると思います。特に、私が注目するのは、健常者と障害者、老若男女が一緒に活動しているという点です。例えば、ボーリング大会に参加させていただいたとき、ボランティアで、中学生から、シニアの方までいらっしやり、参加者の方は、障害を持つ子どもやそうでない子ども、その保護者が参加していました。このような活動形式が、とても価値の高いことだと思います。近年、ただ運動の機会を増やそうという活動は、ほかにも多くありますが、年齢や障害の有無でくくり、活動しています。障害者の運動であれば、障害の子をまとめて、支援の人をつける、という形を作るのが一般的であると思います。もちろん、安全管理の点から考えれば、必要な配慮の時もあり、プール教室の時は、スマイルクラブでも、この形式をとっていたと思います。

私が、障害の有無・老若男女で分けず、活動することがいいなと思った理由は、それぞれの「できる」に着目しているからです。スマイルクラブでの活動で、運動・スポーツの、できることを精一杯やること、運動そのものを楽しむことの大切さを気付かされたように思います。障害の有無・年齢で分けていないこのような活動において、運動・スポーツ＝勝負だけなのであれば、このような活動は出来レースで意味のないものになってしまいます。若くて、障害がない人が勝ちやすいのだから。実習中に、スタッフの方から、「障害は、個性の濃さ」という話を聞いたことを思い出します。色の濃さにいい悪いは、ないですよ。水色も、紺色も、青も、それぞれ大切な色です。それぞれの出来ることを精いっぱいやるスマイルクラブの活動は、本当に、スポーツ本来の価値をもたらすものになっていると思います。私自身、普段競技スポーツを行っているので、ついつい勝ち負けに着目してしまい、「できる」に精いっぱい着目することを忘れてしまいがちです。そんな時、スマイルクラブでの活動を思い出します。

最初は、障害者スポーツの支援をしに行くつもりで来たスマイルクラブですが、活動に来るたび私自身勉強させられます。

今後のスマイルクラブの活動の発展を期して、終わりたいと思います。

「運動が苦手な子の教室」のボランティア活動について
仲村 妙子

私は、昨年末に中国の広州に行き、スマイルクラブの「運動が苦手な子の教室」の活動について、順天堂大学の中山先生の講義や理事長の補足説明も含め、話を聴くことができました。そして中国の方々からもスマイルクラブの活動は、素晴らしいと高い評価が頂けたと実感しました。と同時に、この仕事に私も微力ながら関わっていることを誇りに思うことができたととても楽しかったです。

ですが、最初は戸惑いがありました。

私は昨年まで、中学校の体育教諭でバレーボール部の顧問を務めていました。ですから退職してからはバレーボール教室で何か、お手伝いができないかと連絡させてもらった時、面接で理事長の方から「運動が苦手な子の教室」も手伝ってもらえないかと言われた時は正直、自信がありませんでした。その教室には、支援を必要とする子ども達もいると聞いたからです。ですが、理事長が指示を出してくれるというので少しは安心しましたが、まだとても不安でした。当然ながら、教室の指導でも最初は何をしていいのか解らず緊張していましたが、行き返りの車の中で、理事長から教室での参考になる話を沢山して戴いたり、実際に子ども達と触れ合ううちに、徐々に心境に変化が出てきました。

また、東田直樹さんの「自閉症の僕が跳びはねる理由Ⅰ、Ⅱ」を勧められて読んだ時の感動は今も忘れられません。その時から、もっともっと子ども達のことを知りたいと思うようになりました。

教室に通ってくる子どもたちの個性は、一人一人違います。ですが、共通して言えることは、一所懸命で、純粹だということです。時には、逆に元気をもらったり、癒されることもあります。前の仕事では打算的な言動が見られる生徒もいましたが、それが全くなく、常に正直で新鮮に感じられます。居室を終えた後の子どもたち純真な笑顔が、この仕事のやりがいでもあり、魅力でもあります。

これからは更に、前向きに子ども達と向き合い、子どもたちが体を動かすことが好きになり、運動を通して心身共に成長できるように、この仕事に携わっていこうと思います。

「運動が苦手な子の教室」ボランティア体験報告
松本 大輝

早いもので体験として土曜日の苦手クラスに入ってから、もう8ヶ月目となります。ありがたいことにいつの間にか、木曜日や土曜日の苦手ではメインをやらせていただくようになり、未だにやり方や進め方、体操や走るメニューなどの組み方、子どもたちの対応等反省ばかりですが試行錯誤しながら行っております。

私が以前よりやっていた小学校での特別支援教育支援員を経験している方はいらっしゃらないように見えただけ、その点について私が感じたことや、気づいたことを述べさせて頂こうと思います。

支援員で見てきた子達は健常もいれば明らかに発達障害の子もいました。当然ながら保護者の判断、強い希望で通常級にいるということで、子どものことを考えると通常級よりも特別支援級のほうが良いと思う場合もありますが判断は難しいです。学校に保護者を呼び出し当の子どもを含め面談しても、その最中に子どもを保護者自身の膝の上に乗せて話す方もいるほどです。また保護者会を開きましても、手のかかる子の保護者は十中八九欠席というのが現状で、教員、学校、保護者の連携がこれではうまくいかず指導が行き渡らないのが悩みどころです。

一方でスマイルに來ている子たちは、保護者の方々がお子さんのことをしっかり考え、通わせてくださっていると感じており、これは大きな差なのかなと思うこともあります。もちろん一概には言えないこともわかっておりますが傾向として多いと思います。

ですからやはり子どもと関わっている限りは保護者と子ども、自分を含めた先生やコーチはしっかり三角形でコミュニケーションをとりながらやっていかないといけないというのを強く感じました。

スマイルに入って経験を重ねていく中で、教室の流れやその日の子どもたちの出席率やメンバー構成、寒さ暑さ等々毎回違う環境の下、「さあ今日は何をやるか」と逐一考えるということも大切ということ学びました。先日の講演会でクラウンの大棟さんもおっしゃっていた一流のクラウンはステージに出るまでなにも考えず、ステージに立ってお客さんを見て何をするかをその場で決めるということ、これと同じなんだと思います。つまりは「プログラムとやること」「目の前に子供たちに見合ったルール」の引き出しをとにかく多く作っておく、これはスマイルに関わらせてもらうための至上命題だなと感じております。

これから自分の強みを活かしつつ、足りないところは学び、なにより子どもたちと一緒に楽しみながら、スマイルクラブで頑張っていきたいと思っております。

スマイルクラブでの活動を通して 水野 はるな

私がスマイルクラブでお手伝いを始めたのが、大学4年の春頃です。当時、私の指導教員をしていた、順天堂大学教授の黒須充先生の紹介でこのクラブを知りました。黒須先生の授業で「生涯スポーツ」という言葉が出てきました。「生涯スポーツ」とは障がいの有無に関わらず、全ての人が生涯にわたってスポーツ活動を楽しみながら健康増進を図り、スポーツを通して人生を豊かなものにするのだと教えて頂きました。この「障がいの有無に関わらず」というフレーズを聞いた時に、私はこのクラブを手伝う前まで障がいのある人と共にスポーツや運動をする機会がなかったことに気がつきました。また、障がいのある人たちはどのようにスポーツや運動と向き合っているのか、関わっているのかに興味を持ち、このクラブに携わらせて頂くようになりました。

去年は放課後等デイサービス、今年からは苦手教室でお手伝いします。最初はどのように接すればいいのか、どのように指導すれば子どもたちに伝わり、できるようになるのか、全く分かりませんでした。これまで1年以上指導してきましたが、子どもたちの気分がその日によって異なり、対応に困ったことや驚いたこともいくつもありました。しかし、どの子どもたちも、スポーツや運動を楽しみたい、できるようになりたいという気持ちはみな同じだなと感じました。運動やスポーツができるようになる進歩の度合いはそれぞれですが、できることを少しずつ増やし、生涯をかけてこれからもスポーツや運動を続けて欲しいと思います。

子どもたちがスポーツや運動ができるようになっていくと同時に、私も他のスタッフの皆さんからアドバイスを頂きながら、指導の回数を重ねていくに連れて、障がいへの理解や指導の技術が身についている気がします。まだまだ、理解が足りず、失敗してしまうことも多くありますが、これからも子どもたちと一緒に少しずつ成長できたらいいなと思っています。

本事業の評価と課題

【評価】

1. 「運動が苦手な子の教室」イベントを通じたボランティアの勧誘
【目標】4回のイベント開催、ボランティア150名の参加
【実績】4回 達成率100%、ボランティア127名 達成率85%
2. 技能講習会を通じたボランティアの資質向上
【目標】2回の講習会開催
【実績】2回 達成率100%
3. ボランティア報告会での体験報告
【目標】報告会の開催、ボランティア50名の参加
【実績】実施 達成率100%、ボランティア10名 達成率20%
※計画時には大人数の参加と発表方式を考えていたが、資質向上が顕著なボランティア数名による体験発表方式に変更したため、参加ボランティアの達成率が目標を大きく下回る結果となった。
4. 関係機関への報告書配布による本事業の普及
【目標】50部作成と配布
【実績】100部作成と配布、達成率200%

【事業実施によって得られた成果】

新規ボランティアは伸び悩んだ一方、既存のボランティアは「運動が苦手な子の教室」への継続参加や技能講習会を通じてスキルアップを達成し、ボランティアの資質向上がはかれた。

特に、体験報告会での各ボランティアの発表に共通してみられる「障がいの有る無しに拘わらず誰もがスポーツを楽しめる社会を作る」というスマイルクラブのビジョンに共感し、理解した上で発達障がい児の指導に臨んでくれるようになったことは大きな成果であり、将来子ども達が社会に出た時の支援の充実に繋がると考える。

【課題】

ボランティア募集が目標未達に終わったが、イベント毎に勧誘する方法に限界があると考え。もし翌年度も事業を継続できる場合には、高校や大学への出前授業を取り入れるなどの工夫を取り入れたいと考える。

(付表) ボランティア募集チラシ一覧-1

NPO法人 スマイルクラブ 夏のボランティア募集!

障がい(自閉症などの発達障がい)のある子どもも参加できる水泳教室のサポートボランティアです。子どもたち(小学生が中心)と一緒にプールに入り、コーチの指示にあわせて動けるようにサポートをしてもらおう手伝いです。

◆日時 平成29年 8月1日(火)・2日(水)・3日(木)

9:40 プールサイドにて水着に着替えて打ち合わせ
10:00 参加する子どもたちが集合
10:10~12:00 水泳指導
12:15 解散

◆謝礼 ボランティア参加証明証を発行

◆場所 柏市立柏高等学校のプール

◆条件 子どもの好きな人・25mは泳げる人
(できれば3日間参加できる人)

◆申し込み 市立柏高校 岡田先生まで



※ この事業は、2001年より市立柏高校のご協力のもとに行われ、読売新聞に掲載され紹介していただいています。今年も多くの皆様のご協力よろしくお願いたします!!



そのほかの教室でもボランティアを募集しています!

「運動が苦手な子の教室」

知的障がい児も参加できる運動教室のお手伝いです。毎週でなくてもかまいません、一度見に来てください。

- ① 毎週木曜日 富勢西小学校 17:00~19:00
- ② 毎週土曜日 富勢東小学校 9:30~10:30
- ③ 毎週土曜日 旭小学校 15:00~17:00
- ④ 毎週土曜日 酒井根小学校 13:00~14:00
松戸市・印西市・船橋市などでも行っています

お問い合わせ NPO法人 スマイルクラブ (大浜)
TEL 04-7169-4183 FAX 04-7169-3303
e-mail: smile-c@jcom.home.ne.jp

Supported by 日本 THE NIPPON 財団 FOUNDATION

今年の体育の日は マルハンへGO ボウリングイベント ボランティア募集!!

★障がい(自閉症などの発達障がい)のある子どもも参加できるボウリングイベントに参加し、子どもたちがゲームをできるようにサポートをもらおう手伝いです。



【日 時】 2017年10月9日(祝月)
13:30~16:30

【場 所】 マルハン柏内ボウリング場
(柏市十条二丁目249-5)

【持ち物】 タオル・靴下(必ず着用)

【申し込み】 下記お問い合わせ先にご連絡ください。

【スケジュール】

13:30~ 受付
14:00~ 開会式
14:15~ ゲーム開始(2ゲーム)
16:20~ 表彰式・閉会式・記念撮影

「運動が苦手な子の教室」

ボランティアを募集しています!

知的障がい児も参加できる運動教室のお手伝いです。

毎週でなくてもかまいません、一度見に来てください。

- ① 毎週木曜日 富勢西小学校 17:00~19:00
- ② 毎週土曜日 富勢東小学校 9:30~10:30
- ③ 毎週土曜日 旭小学校 15:00~17:00
- ④ 毎週土曜日 酒井根小学校 13:00~14:00
松戸市・印西市・船橋市などでも行っています

お問い合わせ NPO法人 スマイルクラブ (大浜)

TEL 04-7169-4183 FAX 04-7169-3303
e-mail: smile-club-npo.jp/
http://smile-club-npo.jp/

Supported by 日本 THE NIPPON 財団 FOUNDATION



(付表) ボランティア募集チラシ一覧-2

**「運動が苦手な子」チャレンジ！
風船バレー交流体験会2017
ボランティア募集！！**

主催 特定非営利活動法人スマイルクラブ
大きな風船を使った風船バレー大会を開催します！！
障がい(自閉症などの発達障がい)のある子も参加できる風船バレーに参加し、
子どもたちがゲームを楽しめるようにサポートをしてみようお手伝いです。

Supported by  **THE NIPPON FOUNDATION**

【日時】 平成29年11月25日(土)
13:00～15:00

【場所】 千葉県船橋市立大穴小学校
(千葉県船橋市大穴南2丁目7-1)

【参加者】 幼児(4才)～一般・保護者(本人のみの参加もOK)
40人(定員に達し次第終了)

【参加費】 無料

【持ち物】 体育館シューズ(上履きなど)、飲み物、タオル



スケジュール

12:50～受付
13:00～開会式
13:10～アイスブレイク
13:20～体験会
14:40～閉会式

***** お問い合わせ先 *****

NPO法人 **スマイルクラブ** 担当 都澤啓明



TEL 04-7169-4183
E-mail smile-c@jcom.home.ne.jp

FAX 04-7169-3303
URL <http://smile-club-npo.jp/>



「運動が苦手な子の教室」

ボランティアを募集しています！
お気持ちの良い方も参加出来る運動教室のお手伝いをして
有意でなくてもいいから、一度見に来て下さい。

- ① 毎週木曜日 富勢西小学校 17:00～19:00
- ② 毎週土曜日 富勢東小学校 9:30～10:30
- ③ 毎週土曜日 旭小学校 15:00～17:00
- ④ 毎週土曜日 酒井根小学校 13:00～14:00

お問い合せ NPO法人 スマイルクラブ (大浜)
TEL 04-7169-4183 FAX 04-7169-3303
e-mail smile-c@jcom.home.ne.jp
<http://smile-club-npo.jp/>

**運動が苦手な子の教室「チャレンジスポーツ教室」クリスマス会開催！
ボランティア募集！！**

*子どもたちと一緒にコーチの指示にあわせて動けるようにサポートをしてみようお手伝いです。

Supported by 

【日時】
★柏教室

日	時間	会場
12/21(木)	17:15～18:40<苦手> ※前後半合同	富勢西小学校
	19:15～20:45<チャレンジ>	
12/23(土)	9:40～10:30	富勢東小学校
	13:05～13:55	光ヶ丘小学校
	15:15～16:40※前後半合同	旭小学校
	16:30～17:30	大津ヶ丘第一小学校

★松戸教室

日	時間	会場
12/19(火)	19:00～20:30<チャレンジ>	常盤平第二小
12/20(水)	17:15～18:40※前後半合同	常盤平体育館
12/20(水)	19:15～20:45<チャレンジ>	小金南中学校
12/21(木)	17:15～18:40※前後半合同	常盤平体育館

★印西教室・船橋教室

日	時間	会場
12/23(土)	10:10～11:00	木刈小
12/23(土)	13:15～14:40※前後半合同	大穴小

【申し込み】 下記お問い合わせ先にご連絡ください。

「運動が苦手な子の教室」

ボランティアを募集しています！一度見学に来て下さい。
お気持ちの良い方も参加出来る運動教室のお手伝いです。

- ① 毎週木曜日 富勢西小学校 17:00～19:00
- ② 毎週土曜日 富勢東小学校 9:30～10:30
- ③ 毎週土曜日 旭小学校 15:00～17:00
- ④ 毎週土曜日 酒井根小学校 13:00～14:00

松戸市・印西市・船橋市などでも行っています

お問い合わせ NPO法人 スマイルクラブ (大浜)
e-mail : smile-c@jcom.home.ne.jp
<http://smile-club-npo.jp/>

(付表) ボランティア募集チラシ一覧-3



安全研修会開催のご案内

Supported by 日本 THE NIPPON 財団 FOUNDATION

NPO法人スマイルクラブは、このたび日本財団助成「発達障がい児の運動教室におけるボランティアの養成」事業の一環として、安全（CPR&AED）についての研修を下記にて開催します。

みなさんの安全への意識向上や万が一の時のために、是非ご参加下さい！！

- 【講師】 荒井宏和先生
- 【講師経歴】 流通経済大学スポーツ健康科学部教授
日本赤十字社救急法指導員・ライフセーバー
- 【持ち物】 筆記用具・体育館シューズ
- 【参加費】 無料



会場	日にち	時間
柏市立柏の葉小学校 体育館	2017年 6月11日(日)	10:00~12:00

★参加ご希望の方は6月3日(土)までに、メール、FAX 04-7169-3303にてお申し込み下さい。駐車場は台数に限りがありますのでご協力をお願いします。(地図裏面)

◆スポーツ、心手、健康づくり「スマイルクラブ」
TEL 04-7169-4188 FAX 04-7169-3303
ホームページ <http://smile-club-npo.jp/>
E-mail smile-club@com.zaq.ne.jp
〒277-0858 千葉県柏市豊上町23-29

◆児童デイサービス事業「スマイルスポーツ館」
TEL・FAX 04-7113-1407
ホームページ <http://www.smile-sports.jp/>
E-mail smilesports.juk@com.zaq.ne.jp
〒277-0009 柏市柏 5-8-16 柏カヌス21 C号室

◆児童デイサービス事業「スマイルスポーツ塾松戸」
TEL・FAX 047-705-7086
ホームページ <http://www.smile-sports.jp/>
E-mail smilesports.juk2@com.zaq.ne.jp
〒271-0078 松戸市豊津 611-1 ソルトリバー203

スマイルクラブ6月11日(柏) CPR&AED講習会申し込み用紙

氏名 _____ TEL _____

子ども達とのより良いコミュニケーションを目指して
ホスピタルクラウン講習会の案内
Supported by 日本 THE NIPPON 財団 FOUNDATION

NPO法人スマイルクラブは、スポーツを通じて地域に貢献することを目的としている総合型地域スポーツクラブです。発達障がいのある子どもも参加できる「運動が苦手な子どもの教室」を開催しています。このたび「発達障がい児が運動するための環境づくり及びスポーツボランティアの養成」事業の一環として、今回は大棟耕介さんを講師にお招きして講習会を開催いたします。大棟さんは、ホスピタルクラウンとして小児病棟や被災地へ訪問し子どもたちに笑顔を届ける活動などをされている方です。人を楽しませる方法やコミュニケーションの取り方などを教えていただきます。たくさんの方のご参加お待ちしております！！



- 【講師】 大棟耕介氏 (クラウンネーム Kさん)
- 【講師経歴】 有限会社ブレジャー企画 代表取締役
- 【持ち物】 筆記用具
- 【参加費】 無料
- 【定員】 30名



(定員になり次第締め切らせていただきます)

会場	月日	時間
KOIL(TX柏の葉駅前) 6Fサロン	2018年 1月14日(日)	13:30~15:00

★参加ご希望の方は12月25日(火)までに t.abe-smile@com.zaq.ne.jp までメール、又は教室責任者へ手渡しにてお申し込み下さい。

2

NPO法人 スマイルクラブ
理事長 大浜あつ子
TEL 04-7169-4183
FAX 04-7169-3303
URL <http://smile-club-npo.jp/>
担当: 阿部

1月14日スマイルクラブ指導者講習会 申し込み用紙(手渡し)

氏名 _____ TEL _____ 教室名: _____

(付表) ボランティア募集チラシ一覧-4

「発達障がい児が運動する環境づくり及びスポーツボランティアの養成事業」

ボランティア活動報告会

Supported by  日本 THE NIPPON 財団 FOUNDATION

NPO法人スマイルクラブは、スポーツを通じて地域に貢献することを目的としており、発達障がいのある子も参加できる「運動が苦手な子の教室」を開催しています。今年度は、日本財団様の助成を受けて「発達障がい児が運動するための環境づくり及びスポーツボランティアの養成」事業としても活動してきました。そのおかげで、この一年間たくさんの方にご参加いただき、とても感謝しています。ありがとうございました！！

事業のまとめに、実際に子どもたちと関わってみての感想やボランティアの楽しさや難しかったことなどの思いを数人の方に発表していただき想いを共有する場として、下記のとおりボランティア活動報告会を行います！どなたでも参加可能なので、是非いらしてください！

【日時】 2018年2月4日（日）18:00～20:00
※軽食をご用意しています。

【場所】 まねきねこ 柏駅前店 04-7157-0353
常磐線・柏駅 南口徒歩2分 丸亀製麺のビルの5F
(千葉県柏市柏1-2-8 システムランドビル)

【募集人数】 25名（定員になり次第締め切らせていただきます）

【参加費】 無料

☆参加ご希望の方は1月13日（土）までにt.abe-smile@jcom.zaq.ne.jpまでメール、又は教室責任者へ手渡しにてお申し込み下さい。

NPO法人 スマイルクラブ
理事長 大浜あつ子
 TEL 04-7169-4183
FAX 04-7169-3303
URL: <http://smile-club-npo.jp/>
担当: 阿部



2月4日ボランティア活動報告会 申し込み用紙（手渡し用）

氏名 _____ TEL _____ 教室名: _____

発達障がい児の運動教室における ボランティアの養成 報告書

2018年3月発行
編集・発行 NPO法人スマイルクラブ

NPO法人スマイルクラブ

TEL 04-7169-4183 FAX 04-7169-3303

Homepage

<http://smile-club-npo.jp/>

E-mail

smile-c@jcom.home.ne.jp



〒277-0858 千葉県柏市豊上町23-29



smile club

surroundings where everyone can easily enjoy sports

SINCE 2000